

府中市の景況（景気観測調査9月期結果速報）

景気観測調査の概要

■調査方法

年4回(3月、6月、9月、12月)実施

郵送によるアンケート調査（回答は郵送、またはFAX）

■調査内容

1. 景況のほか、生産額・売上額などについて、令和2年9月の状況を前年同月と比較
2. 同一項目における令和2年10～12月の先行き見通しを令和2年9月と比較

■調査時期

9月

■調査対象

130社（製造業：86社、非製造業：44社）

■回収状況

回答82社（製造業：59社、非製造業：23社）

（総合63.1%、製造業：68.6%、非製造業52.3%）

少しずつ改善の傾向を見せる

府中市内の9月の景況は、総合(全業種)DI(良い-悪い)が前回調査より11.9ポイントのマイナス幅縮小となった【R2.6月期▲75.3→R2.9月期▲63.4】。

製造業のDIも、マイナス幅縮小【R2.6月期▲83.9→R2.9月期▲67.8】。製造業を産業別にみても、鉄鋼・非鉄金属を除いてはマイナス幅縮小となった。特にマイナス幅が縮小していたのが、機械・金属製品で前回調査より40.8ポイントのマイナス幅縮小【R2.6月期▲80.8→R2.9月期▲40.0】。木材・木製品は「9月以降に展示会を予定している。徐々に動き始めている」との声がある一方で、唯一マイナス幅拡大を見せた鉄鋼・非鉄金属は「依然厳しい状況が続く」との声が多かった。

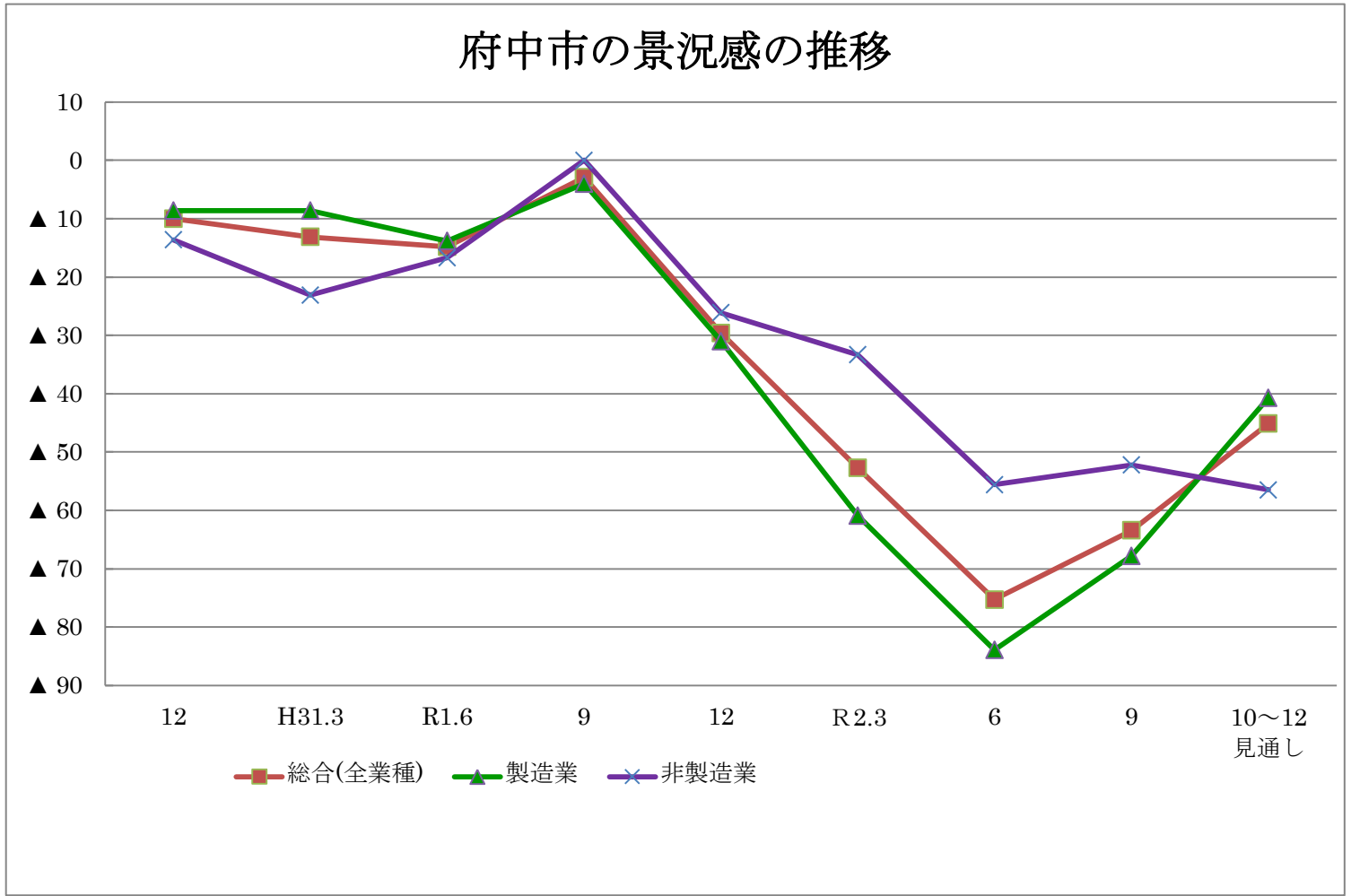
非製造業のDIは3.4ポイントのマイナス幅縮小【R2.6月期▲55.6→R2.9月期▲52.2】。産業別にみると、建設業は13.6ポイントのマイナス幅拡大【R2.6月期▲50.0→R2.9月期▲63.6】、小売業は19.8ポイントのマイナス幅縮小【R2.6月期▲61.5→R2.9月期▲41.7】となった。小売業からは「消費者の収入増加が望めない危機感と新型コロナウイルス感染症の再流行の不安から生活必需品以外の消費は最小限に控える傾向がある」と依然先行き不透明への不安の声が多かった。

令和2年10～12月の先行き見通し

10～12月の先行きでは、総合(全業種)は大幅にマイナス幅を縮小、建設業がマイナス幅拡大となっている。「新しい生活様式に対応した商品の伸びを期待。SNSでの自社PRを積極的に実施していく」など、厳しい状況の中でも新しい挑戦への声も寄せられている。

※DI(景況判断指数)は、「好転」とする回答割合から「悪化」とする回答割合を差し引いた値で、プラスなら強気、マイナスなら弱気などの景況感を示す。

府中市の景況感の推移



業種	年月	12	H31.3	R1.6	9	12	R2.3	6	9	10~12 見通し
総合(全業種)		▲ 10.0	▲ 13.1	▲ 14.8	▲ 2.9	▲ 29.6	▲ 52.7	▲ 75.3	▲ 63.4	▲ 45.1
製造業		▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 13.8	▲ 4.0	▲ 31.0	▲ 60.9	▲ 83.9	▲ 67.8	▲ 40.7
家具・木材製造業		▲ 31.3	▲ 23.1	▲ 21.4	▲ 18.2	▲ 26.6	▲ 43.8	▲ 87.5	▲ 85.7	▲ 50.0
繊維製品製造業		7.7	25.0	16.7	36.4	9.1	▲ 61.5	▲ 66.7	▲ 41.7	▲ 25.0
非鉄金属製品製造業		▲ 15.4	▲ 13.3	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 64.3	▲ 82.4	▲ 93.8	▲ 100.0	▲ 80.0
機械・金属製造業		7.7	▲ 20.0	▲ 21.4	0.0	▲ 33.4	▲ 53.3	▲ 80.8	▲ 40.0	▲ 6.7
その他		0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 33.3
非製造業		▲ 13.6	▲ 23.1	▲ 16.7	0.0	▲ 26.1	▲ 33.3	▲ 55.6	▲ 52.2	▲ 56.5
建設業		▲ 18.2	▲ 16.6	▲ 13.3	▲ 18.2	▲ 38.5	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 72.7
小売業		▲ 9.1	▲ 28.6	▲ 20.0	25.0	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 61.5	▲ 41.7	▲ 41.7